

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)

閣僚共同声明(仮訳)

2023年11月15日 米国サンフランシスコ

2023年11月15日(米国太平洋標準時)、豪州、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、英国及びベトナムの閣僚及び代表は、CPTPPの参加国として、米国サンフランシスコにて会合を行った。この機会に、協定がダイナミックで生きたものであることを確保し、貿易協定の「ゴールド・スタンダード」であり続けるというコミットメントを再確認した。閣僚らは、英国の加入手続を成功裡に完了したことを改めて歓迎した。現在、我々の焦点は、英国のCPTPPへの加入議定書の適時の発効に向けた、各国の国内手続の完了に向けられている。

閣僚らは、CPTPPの一般見直しの付託事項(TOR)を承認した。これは、特に零細・中小企業による、CPTPPの最大限の活用を支援し、協定の理解を改善し、同時に、女性や先住民族の経済的エンパワーメント及び持続可能な環境の慣行を支える貿易の成果をもたらすことを検討することになる。

この一般的な見直しのプロセスは2024年に進められ、この協定に基づいて設置された全ての小委員会、作業部会その他の補助機関の活動、国際的な場における関連する進展及び、適当な場合には、非政府の者又は団体の意見を考慮する。

閣僚らは、CPTPPの参加国の利益が加入手続を通じて拡大し続けることができるよう、CPTPPが、協定のハイスタンダードを満たす用意があり、貿易に関するコミットメントを遵守する行動を示してきたエコノミーによる加入要請に対して開かれていること、そして、意思決定は参加国のコンセンサスによることを再確認した。

閣僚らは、2023年7月のTPP委員会以来、参加国が、加入要請エコノミーがCPTPPのハイスタンダードを満たすことができ、貿易に関するコミットメントを遵守する行動を示しているかどうかについての情報収集を行なっていることに留意した。閣僚らは、現時点で集められている情報が、CPTPP参加国によってとられる、いかなるプロセス、結果、決定又は行動を予断するものではないことを再確認した。参加国は、英国加入から得られた教訓をもとに、この作業を継続し、効率的で、公正で、質が高く、加入要請エコノミーにとって魅力的な将来の加入に向けたプロセスを策定する。

閣僚らは、全参加国の関心を反映し、協定のハイスタンダードを維持する形で、参加国が一体となって加入手続を前進させる重要性に留意した。